

事業計画の解説

2014年5月31日

NPO法人かごしまホームレス生活者支えあう会

NPO法人の事業計画は、総会后、所管庁である鹿児島県に提出する必要があるため、回の規則である定款に合わせた形で作成する必要があり、会員のみなさまには、ご理解になりにくい形式的なものになってしまいがちです。

そこで、県に提出すべき事業計画とは別に「事業計画の解説」を作成しました。こちらでは、活動の実態に合わせた形で作成し、会員のみなさまに、本会の活動の内容や様子をより深くご理解いただきたいと思います。

1. おにぎり配り活動

本会は、長年にわたって、週に3回(火曜日、木曜日、日曜日)、おにぎり配り活動を継続してきました。今年度、助成金等の減少のため、予算規模を大幅に縮小し職員数も大きく減少することとなり、おにぎり配り活動の継続も大きなピンチを迎えましたが、3月に臨時理事会を開催し、初心に返ってボランティアでこれまでどおりのおにぎり配り活動を継続していくことを決定しました。非専従職員及び理事もがんばりますが、様々な方々に参加いただき、おにぎり配り活動を継続する大きな輪を作っていければと思っています。みなさまにおかれてもご協力をお願い申し上げます。

また、おにぎり配り活動はこれまでずっと中央公園で実施してきましたが、今年度は、ホームレス生活者の方々に活動を知ってもらう機会を増やすために、曜日によって、中央公園または甲突川河畔で行うこととしました。

2. 夜回り活動

夜回り活動についても、予算規模の大幅な縮小と職員数の減少により、様々な困難があるところですが、従前どおり、月に1回の夜回り活動を継続することとしています。

また、これまでの夜回り活動においては、桜島栈橋、天文館周辺、鴨池周辺、鹿児島中央駅等市内中心部が主な活動範囲だったのですが、今年度は、さらに多くのホームレス生活者の方々との出会いと支援の機会の提供を求めて、谷山方面についても対象とすることになりました。

3. シェルター・自立準備ホームの運営

本年度は、シェルター・自立準備ホームの運営を大幅に拡張することとしています。

これまで3部屋であったシェルターを8部屋に増加させます。(ただし、1部屋のワンルームを2つに区切って使用するものであり、トイレ、キッチン、お風呂は共用となる半相部屋です)。また、鹿児島保護観察書から委託を受けている自立準備ホームについては、これまでは滞在期間を2週間程度としていましたが、長期間の滞在も受け入れることとしています。

4. サロンの運営

本年度、サロンの運営については、予算規模の大幅な縮小と職員数の減少により、また、事務所の移転にともない開催場所の確保が困難であることもあって、一定の規模縮小を行います。しかし、これまでもたいへん好評であったパソコン教室については、週2回の開催を継続し、初心者向け教室に加えて、実践的な教室も開催し、こちらでは、支えあう会の発行する文書の作成なども行っていただく予定です。

5. 料理会・料理教室

本年度も、これまで同様、毎月1回の料理会を継続することとしています。ただし、予算規模の大幅な縮小と職員数の減少のため、今後、回数を減らすことも検討せざるを得ないかもしれません。

6. 医療相談会

本年度も、料理会とあわせて実施してきた医療相談会を、鹿児島生協病院さんのご協力のもと、継続することとしています。

7. 広報誌の発行

今後も広報誌の発行を続けていきますが、予算規模の大幅な縮小と職員数の減少のため、回数を減らします。これまで年4回の発行だったところを年2回とすることとしています。

8. 鹿児島県からの委託事業について

昨年度に引き続き、鹿児島県から「生活安心コーディネート事業」を受託します。委託費は約200万円です。当該事業は、ホームレス生活者に対する相談支援事業を主な対象としています。

9. 鹿児島市からの助成金について

今年度は、はじめて、鹿児島市からの助成金を受けることになりました。助成金項額は91万6千円です。助成対象は、おにぎり配り活動、夜回り活動、料理会です。